

保健医療学部看護学科カリキュラムマップ2025

【設置の趣旨・必要性】
 ○地域医療、そして地域に住む人々の健康増進を幅広く支援できる看護者の養成のため、保健師課程を選択制として設け、看護師のみを目指す学生に対しては、地域全体を見る視点、チーム医療の視点、在宅看護、個々人に対するフィジカルそしてメンタルアセスメント力の修得など、公衆衛生、地域医療に関する看護教育を充実させ、今日までの地域の看護人材育成と安定供給を担ってきたこまつ看護学校を4年制大学へと発展させ、これからの時代に求められる知識、技術、姿勢をあわせもつ看護専門職業人育成を実現する。
 ○医療・介護などのさらなる機能分化と連携強化を推進するとともに、ますます進行する超高齢化社会に対応できる医療体制の構築を目指し、質の高い看護職員の養成と供給を強化していく。
 ○高齢化に対して、急性期医療と在宅医療の両立により患者の「くらし」を重視した看護ケア体制を整備するため、幅広い知識と教養を身につけたジェネラリストの基盤となる看護基礎教育が十分行き届いた人材の確保に向け、地域の将来のための看護教育と人材輩出の役割を担う。

【養成する人材像】
 顕在または潜在する健康問題を抱える対象の反応をアセスメントし、その人にとって望ましい看護ケアの提供の実現に向けて、看護師として求められる知識、能力とともに、病を抱える人や老いを生きる人の心身の痛みを共感できるしなやかで繊細な感性と、人としての深さを併せもつ、幅広い領域で求められる看護ケアを的確かつ柔軟に提供できる看護専門職業人を育成する。(DP1)~(8))

アドミッション・ポリシー
 本学科の設置の目的、教育理念と教育目標に共感し、次に示した3つのすべてを併せもつ次のような学生を求める。

カリキュラム・ポリシー
 学科の教育課程を教育目標に対応して6つのステージに分け、段階的に実施していく。

教育課程

前期	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
<p><共通教育科目> ◎導入科目… キックオフ・デザインゲーム論、アカデミックスキルズ、情報処理基礎、基礎ゼミ、南加賀の歴史と文化 ◎人間力科目…心理学、人間の発達と心 など ◎社会力科目…日本国憲法、自然資源と環境問題 など ◎科学力科目…クリティカルシンキング、統計学 など</p>								
解剖学 生理学	病理学 感染免疫学 栄養・生化学	心と健康の ストレスマネジメント論	薬理学	*人体の構造と機能に関する知識				
多様性と異文化理解		疾病・治療論(急性疾患) 疾病・治療論(慢性疾患) 疾病・治療論(母子) 公衆衛生学	疾病・治療論(慢性疾患) 疫学・保健統計学	*臨床医学の知識 *顕在化する健康問題への理解 *社会集団や医療・福祉制度の仕組みの理解				
【基礎看護学】 看護学概論		医療倫理 基礎看護ケア提供論 基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ	基礎看護演習Ⅱ 基礎看護演習Ⅲ 基礎看護演習Ⅳ 基礎看護実習Ⅱ	*看護対象の目標に立った看護ケアのあり方の *看護師としての心構え *看護実践に必要な基礎知識の修得 *根拠に基づく計画的看護ケア手法の修得				
【在宅看護学】 地域・在宅看護学概論		市民健康支援実習		*地域住民の健康に係る実践把握				
【精神保健看護学】		精神保健看護学概論 精神保健看護ケア提供	精神保健看護演習 精神保健看護実習Ⅰ	精神保健看護実習Ⅱ		*精神保健看護ケアの知識と能力の修得 *看護対象の心と体に寄り添う看護ケアの考		
【老年看護学】		老年看護学概論 老年看護ケア提供論	老年看護演習Ⅰ	老年看護演習Ⅱ	老年看護実習Ⅰ 老年看護実習Ⅱ	*老年看護ケアの知識と技能		
【成人看護学】		成人看護学概論 成人看護ケア提供論	成人看護演習Ⅰ	成人看護演習Ⅱ	成人看護実習Ⅰ 成人看護実習Ⅱ	*成人看護ケアの知識と技能		
【母性看護学】		母性看護学概論 母性看護ケア提供論	母性看護演習Ⅰ	母性看護演習Ⅱ	母性看護実習	*母性看護ケアの知識と技能の修得		
【小児看護学】		小児看護学概論 小児看護ケア提供論	小児看護演習Ⅰ 小児看護実習Ⅰ	小児看護演習Ⅱ	小児看護実習Ⅱ	*小児看護ケアの知識と技能		
【在宅看護学】		地域・在宅看護ケア提供論	地域・在宅看護演習Ⅰ 地域・在宅看護演習Ⅱ	地域・在宅看護実習		*在宅看護ケアの知識と技能		
【公衆衛生看護学】		公衆衛生看護学概論 健康教育論	保健医療福祉行政論	疫学・保健統計学演習 公衆衛生看護方法論Ⅰ 公衆衛生看護方法論Ⅱ	公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護方法論Ⅲ 公衆衛生看護方法論Ⅳ 公衆衛生看護方法論Ⅴ 公衆衛生看護実習	*公衆衛生看護活動のための知識と能力		
				グローバル感染対策 医療技術の科学的検証	リハビリと福祉技術 チーム医療概論	*医療現場での看護実践能力		
				看護と異文化理解	看護熟練の技			
				研究方法論	卒業研究			

看護学として必要とされる専門知識・技術を学ぶための基礎学力を持った人

①人の身体と心を知るステージ
看護学を学ぶ上で基礎となる「人の身体と心」について理解する。

人々の営みや健康問題に関心をもち、看護師または保健師として地域社会の医療・保健・福祉分野の発展に貢献しようとする人

②人の健康問題を考えるステージ
疾病や治療などの臨床医学とあわせて、生活主幹業やメンタルヘルス不調、認知症に関して看護ケアを提供するための知識と能力を修得する。

相手の立場に立ち、思いやりをもって接することができる人

③看護とは何かを理解するステージ
主に基礎看護学の科目を配し、南加賀地域において将来的にどのような役割が看護師に求められるのかを把握し、学修意欲を高める。根拠に基づき看護学を体系的に実践する基礎能力、および、チーム看護の基盤に関する実践能力を育成する。

看護ケアの能力を育てる人

④看護ケア能力を育てるステージ
①~③において、看護することの全体像を描いた後、特定の健康課題に対して、看護ケアが提供できる実践能力を育成する。

看護ケアの能力を高める人

⑤看護ケア能力を高めるステージ
在宅看護学と看護の統合、公衆衛生看護学に係る科目は2年次から4年次にかけて継続的に受講し、看護実践能力を臨床から地域へ広げる意識を醸成する。ケア連携とチーム体制整備に関する実践能力を長期的な視野で育成する。

看護の未来を共創する人

⑥看護の未来を共創するステージ
「看護の未来を共創する」(卒業後の学びのステージ)として、看護学の伝承から、看護学の発展をめざし、学生自身が主体となって、看護の未来を教員と共に創る学びを充実させ、専門職業人として貢献し続けるための基本能力を育成する。

黒の囲い: 選択科目、選択必修科目
赤の囲い: 必修科目

ディプロマ・ポリシー
 卒業までに規定の単位を取得し、本学科の養成する人材像に必要な知識、能力を修得した者に、学士(看護学)を授与する。具体的な能力は次のとおりである。

想定される進路・就職先

【DP1】看護を必要とする対象に望むケアを提供するための基本的知識、技術、態度を備えている。

【国家試験受験資格】
 ・看護師
 ・保健師(選択者のみ)

【DP2】少子化、高齢化、認知症、生活習慣病などの今後進行する看護課題について理解している。

【DP3】病を抱える人、老いを生きる人の心身の痛みに寄り添い、共感するための感性・教養・倫理観を有している。

【看護師】
 ・病院
 ・介護福祉施設
 ・訪問看護ステーション
 ・行政機関
 など

【DP4】南加賀地域の健康課題を理解し、看護師に求められる素養と役割を認識している。

【DP5】様々な段階の看護対象に対し、適切な看護ケアを提供できる専門知識、技術、態度を有している。

【DP6】他の医療専門職業人と協働するための協調性、能力を身につけ、地域包括ケアシステム構築に向けて積極的に取り組むことができる。

【保健師】
 ・保健所
 ・病院
 ・教育機関
 ・企業
 ・行政機関
 など

【DP7】看護ケアの課題解決のための具体的な専門知識や能力を有している。

【DP8】人種・地域の違いに臨むことなど看護の専門性を発揮できる心と意欲を有している。
 ※保健師選択者
 地域の保健指導や健康水準の向上に貢献するための公衆衛生看護ケアの知識や能力を備えている。